

### 小学生200人が貴重な体験

NIPPO、埼玉の  
舗装現場で見学会

NIPPOは1日、埼玉県内で施工している「R3国道17号本庄道路神流川橋外舗装工事」（発注・国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所）で小学生を対象に現場見学会を開いた。上里町立賀美小学校の1、2年生約200人が参加し、舗装機械の見学や神流川橋の歩道部床板へのお絵かきなどを楽しんだ。本庄道路は国道17号の渋

滞緩和などを目的に埼玉県本庄市沼和田と群馬県高崎市新町を結ぶ延長7.5キロで整備が進む。一部を形成する神流川橋の架け替え工事は上部工まで完了。NIPPOが舗装工と前後の国道17号との取り付け道路の舗装を行っている。

見学会は2023年に創立150周年を迎える賀美小学校から記念事業の一環として要望がありNIPPOが快諾した。当日は新しい神流川橋の歩道部床板に自由に絵を描き、土工部ではアスファルトフィニッシ

ャなどの舗装機械を見学した。

簡単な舗装勉強会も開催。NIPPOの担当者が写真を使って道路の重要性や舗装の役割などを分かりやすく説明した。子どもたちは遮熱性舗装や透水性舗装、各種舗装を見て触って体験し、用途に応じてさまざまな舗装があることを学

んだ。

小学校からは「子どもたちは学校へ帰ってから機械の絵を描いたり、感想を書いたりして生き生きと活動していた。特に6年生は良い思い出ができた」と感謝の言葉が寄せられた。



フローンで記念撮影  
(NIPPO提供)

## 小学6年生が床版 に思い出を描く

### NIPPO施工の 神流川橋舗装現場

NIPPOは1日、舗装を進めている「R3国道17号本庄道路神流川橋外舗装工事」(発注者・国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所)の現場で、埼玉県上里町立賀美小学校の児童を対象に見学会を開いた。児童は舗装用機械などを見学するとともに神流川橋の床版に絵を書いた写真。



神流川橋は、新しい橋を架設中で、埼玉県本庄市沼和田

から群馬県高崎市新町間の延長7.5kmの「本庄道路」として整備が進められている事業の中の一部。上部工まで建設が終了しており、現在、NIPPOが仕上げとなる舗装工と前後の国道17号との取り付け道路の舗装を行っている。

今回、工事事務所の設置箇所を学区内とする賀美小学校が来年150周年を迎えるため、その記念事業の一環で課外学習として現場見学の申し込みがあり、同社が応えたもの。上里町勅使河原地先で行われた。

当日は、6年生の児童36人が新しい橋の歩道部に絵を書

いて「思い出」とした。今後、歩道用塗布防水工とアスファルト表層工を予定している。

その他、1-6年生の児童約200人を対象に、写真を用いた舗装の流れなどの紹介、アスファルフィニッシャーなど舗装用機械の見学、排水性舗装で水の通り具合を体験するなどの舗装の体験会、記念撮影が行われた。

## NIPPO 「神流川橋」で現場見学会 地元小学校から200人

NIPPOは1日、関 並行して走る国道17号本 川橋」で地元小学生を対  
越自動車道・上里SAと 庄道路に施工中の「神流 象にした現場見学会を開

いた。工事管内にある来  
年150周年を控えた賀  
美小学校から記念事業の  
一環として要請があり、  
同社が快諾したものを。

当日は、6年生36人を  
対象に「お絵かき会」を  
開催。児童らは「KAMI  
I150」と大きく縁ど  
られた中に日本地図や海  
の生き物、おにぎりなど  
をカラフルな色どりで描  
き出していた。さらに1  
〜6年生の全児童200  
人を対象に舗装機械の見  
学会や舗装の勉強会・体  
験会も行われた。



賀美小の来年150周年を記念して行われた  
6年生による「お絵かき会」

この日、勉強会を担当  
した同社関東  
第一支店の村  
上浩技術部長  
は「参加して  
舗装に興味を  
持つてもらっ  
た子供たちが  
たくさん元  
気をもらいま  
した。一人で  
も将来道路に  
かかわる仕事  
についてもら  
えたら嬉しい  
です」と語っ  
た。

体験会では、遮熱性舗  
装・透水性舗装と、一般  
的な舗装を比較。実際に  
手で触って温度の違いを  
確かめたり、水の通り具  
合の違いを自分たちの目  
で確かめ合って驚いてい  
た。同校の山本友子教頭  
は「子ども達も楽しかつ  
たようで、学校に戻って  
からも機械の絵を描いた  
り、感想を書いたり、生  
き生きと活動。特に6年  
生は本当に良い思い出が  
できました」と謝意を述  
べた。